

平成29年度(2017) 水道事業会計決算概要

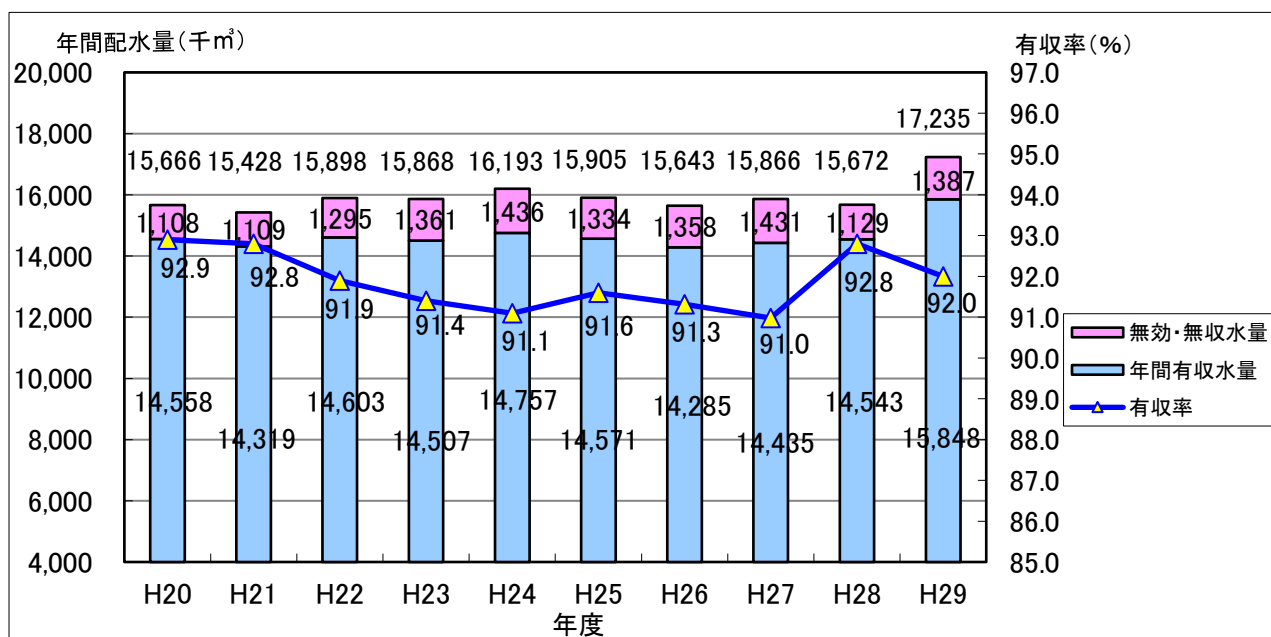
1. 概況

平成29年度の水道事業会計決算は、全ての簡易水道事業(斐川宍道水道企業団に統合した島村・阿宮簡易水道事業を除く。)を統合した初めての決算であり、前年度と比較すると、業務量及び収入支出決算額が大幅に増加しました。

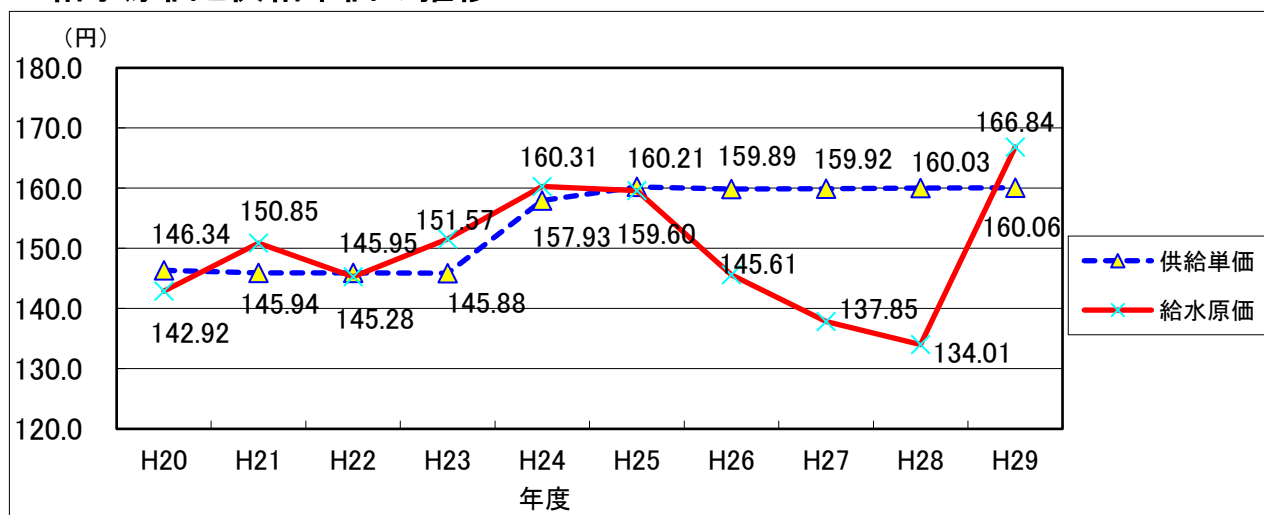
業務量では、給水戸数、給水人口、年間総配水量及び年間総有収水量が、いずれも前年度に対し1割程度増加しました。

区分	平成29年度	平成28年度	増減
給水戸数(戸)	54,538	49,190	5,348
給水人口(人)	144,283	131,673	12,610
年間総配水量(m ³)	17,235,381	15,671,746	1,563,635
年間総有収水量(m ³)	15,848,336	14,543,392	1,304,944

2. 年間配水量と有収率の推移



3. 給水原価と供給単価の推移



※給水原価は、会計制度の改正により平成26年度から次の計算式で算出しています。

$$\text{給水原価} = (\text{給水費用} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$$

4. 収益的収入及び支出

(単位:百万円 税抜)

区 分	H29	H28	H27	H29-H28
事業収益	3,268.3	2,880.0	2,857.6	388.3
営業収益	2,636.9	2,402.8	2,405.4	234.1
水道料金	2,536.6	2,327.4	2,308.5	209.2
受託工事収益	17.7	7.3	7.9	10.4
その他営業収入	82.6	68.1	89.0	14.5
営業外収益	631.3	449.5	442.1	181.8
加入金	82.9	80.0	69.1	2.9
その他営業外収入	548.4	369.5	373.0	178.9
特別利益	0.1	27.7	10.1	△ 27.6
事業費用	3,087.2	2,300.0	2,356.0	787.2
営業費用	2,802.5	2,136.7	2,189.0	665.8
職員給与費	315.2	242.1	244.4	73.1
動力費	200.8	146.9	147.4	53.9
薬品費	22.6	18.8	18.8	3.8
修繕費	183.0	169.1	224.1	13.9
減価償却費	1,498.1	1,140.4	1,128.7	357.7
資産減耗費	44.1	14.8	32.8	29.3
受託工事費	22.6	13.1	14.4	9.5
その他営業費用	516.1	391.5	378.4	124.6
営業外費用	284.2	161.7	156.8	122.5
支払利息	230.9	149.6	156.8	81.3
その他営業外費用	53.3	12.1	0.0	41.2
特別損失	0.5	1.6	10.2	△ 1.1
純利益	181.1	580.0	501.6	△ 398.9

収益的収入及び支出(消費税抜)については、収入は3,268,307千円、支出は3,087,226千円となり、収入支出差引で181,081千円の純利益が生じました。

前年度と比較すると、簡易水道事業の統合の影響等により、収入では水道料金、一般会計繰入金、長期前受金戻入等の増加により388,352千円の増額となりましたが、支出では減価償却費、支払利息、職員給与費、動力費、委託料等の増加により収入の増額を上回る787,276千円の増額となりました。これにより、純利益は前年度より398,924千円の減額となりました。

5. 資本的収入及び支出

(単位:百万円 税込)

区 分	H29	H28	H27	H29-H28
資本的収入	881.7	445.7	358.0	436.0
企業債	300.0	300.0	283.0	0.0
国庫支出金	21.4	0.0	0.0	21.4
工事負担金	134.5	116.2	56.8	18.3
他会計負担金	21.5	4.9	18.2	16.6
他会計繰入金	404.3	24.6	0.0	379.7
資本的支出	2,235.3	1,774.5	1,152.1	460.8
建設改良費	1,483.6	1,395.3	743.0	88.3
第6次拡張改良事業	704.8	954.3	315.4	△ 249.5
一般拡張改良事業	778.8	441.0	427.6	337.8
(建設改良費の内訳)				0.0
工事費	1,275.5	1,191.6	588.9	83.9
職員給与費	102.5	79.0	71.5	23.5
委託料等	44.0	104.5	57.5	△ 60.5
土地購入費	2.0	0.0	0.0	2.0
その他	59.6	20.2	25.1	39.4
企業債償還金	751.7	379.2	409.1	372.5
収支不足額	△ 1,353.6	△ 1,328.8	△ 794.1	△ 24.8

資本的収入及び支出(消費税込)については、収入は881,668千円、支出は2,235,316千円となりました。この資本的収入及び支出の差引不足額1,353,648千円については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補填しました。

施設面では、4か年の継続事業で実施している向山配水池等再構築事業のうち新向山第2配水池(3,300m³)の供用を開始したほか、向山配水池の解体工事と新設に向けた工事に着手しました。また、新向山配水系配水本管整備事業では、大津朝倉北交差点から姫原北交差点までの整備を進めました。

6. 貸借対照表

平成30年(2018)3月31日

(単位:千円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
1 固定資産	37,482,713	3 固定負債	14,072,210
(1) 有形固定資産	37,452,632	(1) 企業債	14,072,210
ア 土地	1,882,847	(2) 引当金(退職給付引当金)	0
イ 建物	1,346,921	4 流動負債	2,117,559
ウ 建物附属設備	284,843	(1) 企業債	791,521
エ 構築物	27,336,223	(2) 未払金	975,370
オ 機械及び装置	4,988,182	(3) 未払費用	1,755
カ 車両運搬具	5,280	(4) 引当金(賞与引当金)	31,220
キ 工具器具及び備品	69,568	(5) その他流動負債	126,919
ク 建設仮勘定	1,538,768	(6) 仮受金	190,774
(2) 無形固定資産	28,681	5 繰延収益	9,554,861
ア 借地権	671	(1) 長期前受金	15,628,104
イ その他無形固定資産	28,010	(2) 収益化累計額	△ 6,073,243
(3) 投資	1,400		
ア 出資金	1,400	負債合計	25,744,630
2 流動資産	3,537,329		
(1) 現金預金	2,807,732		
(2) 未収金	600,240	6 資本金	13,064,246
未収金	617,057	(1) 資本金	13,064,246
貸倒引当金	△ 16,817		
(3) 貯蔵品	17,452	7 剰余金	2,211,166
(4) 前払費用	1,030	(1) 資本剰余金	352,032
(5) 前払金	110,225	ア 工事負担金	50,617
(6) その他流動資産	650	イ 国庫補助金	104,929
		ウ 県補助金	518
		エ 寄附金	239
		オ 交付金	1,542
		カ 受贈財産評価額	11,314
		キ 他会計負担金	39,471
		ク 他会計補助金	41
		ケ 加入金	143,361
		(2) 利益剰余金	1,859,134
		ア 減債積立金	364
		イ 建設改良積立金	1,307,689
		ウ 当期末処分利益剰余金	551,081
		資本合計	15,275,412
資産合計	41,020,042	負債資本合計	41,020,042